

今日から始める！災害への備え

日頃から確認しておきましょう

問合せ▶防災・危機管理課(☎232-9152)

6月は土砂災害防止月間です。これから大雨の時期を迎え、洪水や土砂災害などが発生する可能性が高くなります。

これらの災害による被害を防ぐためには、自分の身は自分で守るという意識を持つことが大切です。ハザード

マップなどで自宅や勤め先などの災害リスクや避難所を確認し、災害に備えるとともに、正しい情報の入手方法などを確認しましょう。

また、災害時には、気象情報を確認しながら、早めの避難を心がけましょう。

新たな防災気象情報の運用が開始

新たな防災気象情報の運用が5月29日から開始されました。新情報では、情報名称に警戒レベルの数字をつけて発表する(「レベル3大雨警報」など)ことで、市が発令する避難情報や市民の皆さんがとるべき避難行

動との対応がわかりやすくなります。レベル3やレベル4の情報が発表された場合には、早めの避難を心がけてください。

新たな防災情報の詳細(気象庁)⇒



新たな防災気象情報

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	(住民がとるべき行動)
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保
-----<警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！>-----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員退避
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難場所や避難ルート、避難のタイミングなどの確認
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心がまえを高める

✓ ハザードマップを確認しておきましょう

市では、洪水、土砂災害などの際に、注意・警戒が必要な区域を示した、ハザードマップを公表しています。**ハザードマップで、注意・警戒が必要な区域、避難する場所などを、家族で確認しておきましょう。**ハザードマップは、防災・危機管理課、市ホームページで入手できます。また、スマホなどから「いつでも」「どこでも」確認できる「WEBハザードマップ」も便利です。

ハザードマップ⇒



✓ 災害情報の入手方法を確認しておきましょう

災害時は、正しい情報を入手して、冷静に行動することが大切です。市では、災害が発生するおそれのある段階から、各種媒体をとおして情報を発信します。

災害情報の入手方法⇒



✓ 非常持出品や備蓄品を確認しておきましょう

災害時には、電気・ガス・水道などのライフラインが使用できなくなる場合があります。ライフラインが復旧するまでの生活を想定し、飲料水や食料、生活用品や衛生用品など、必要な物資を準備しておきましょう。

【非常持出品】

最低限必要な物資をすぐに持ち出せるよう、非常持出品をリュックサックなどにまとめておきましょう。

【備蓄品】

自宅の安全が確保され、在宅避難をする場合に備え、3～7日程度生活できる備蓄品を準備しておきましょう。

※市の防災パンフレットに、非常持出品や備蓄品のチェックリストを掲載していますので、参考にしてください。

防災パンフレット⇒



✓ 近くの避難所を確認しておきましょう

市では、すべての市民センター、市立小・中・義務教育学校を指定避難所としています。日頃から、自宅や勤め先など、近くの指定避難所や避難する経路を確認しておきましょう。

また、災害時の「逃げ遅れ」を防ぐために、自分の避難のためのスケジュール表である「マイ・タイムライン」を事前に作成しておきましょう。

マイ・タイムライン⇒

